

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第38号(2010 04 30)
事務局川西地区自主防災会

国土の変遷を見てみませんか

—丸亀の土地利用などの移り変わりが見られます—

- ・空中写真 1946年から2007年まで
- ・旧版地図 明治から現在まで



四国地方測量部

みなさんの住んでいるところは、昔どんな場所でしたか？

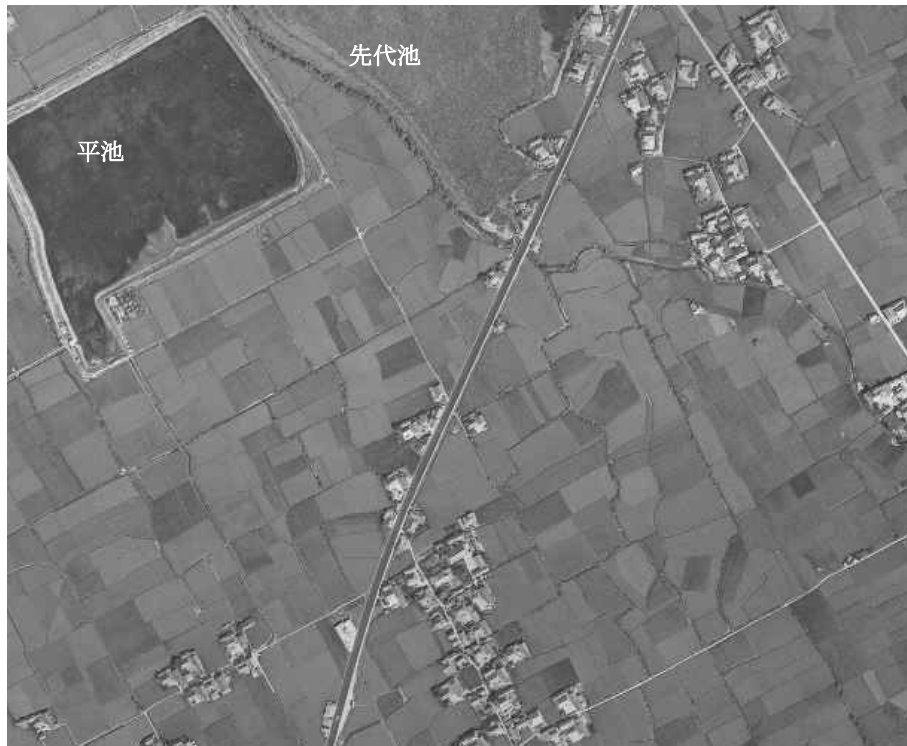
国土地理院では、1946年に米軍で撮影された空中写真から2007年までに国土地理院で撮影された全国の空中写真を「国土変遷アーカイブ」として公開しており、誰でもインターネットで見ることが出来ます。

これにより、自宅に居ながら昔の土地利用などを見て、タイムスリップしてみませんか？

I. 空中写真を見るURL : <http://archive.gsi.go.jp/airphoto/>

詳しい見方（閲覧方法）は、次の URL をご覧下さい。

<http://archive.gsi.go.jp/airphoto/help.html>



1962年9月20日 国土地理院撮影 丸亀市金倉町(丸亀競技場)付近



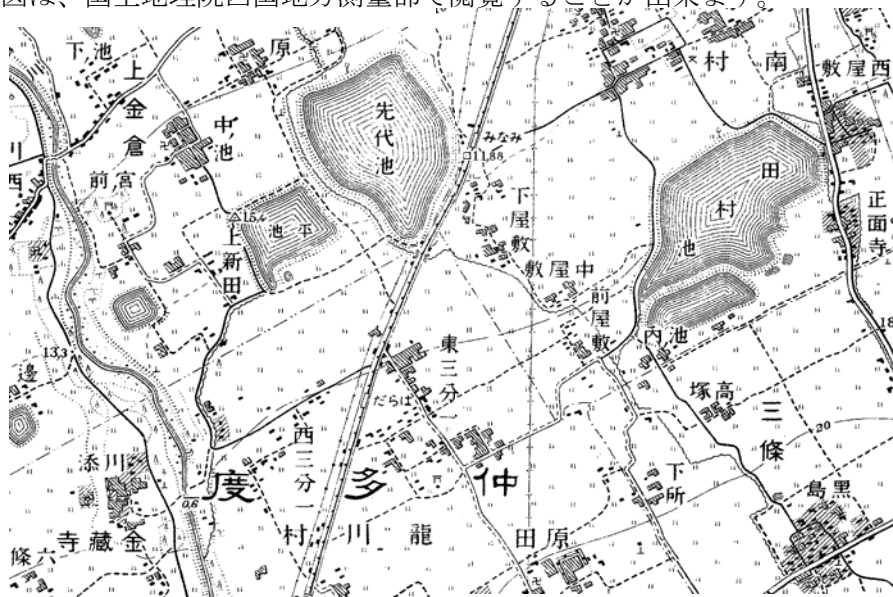
2007年8月18日 国土地理院撮影 丸亀市金倉町(丸亀競技場)付近

丸亀市総合運動公園は、先代池の一部を埋め立てられて作られたことが分かります。また、国道11号丸亀バイパスや香川県立丸亀競技場などができ、商業施設や宅地造成も含め開発が進んだ様子が分かります。

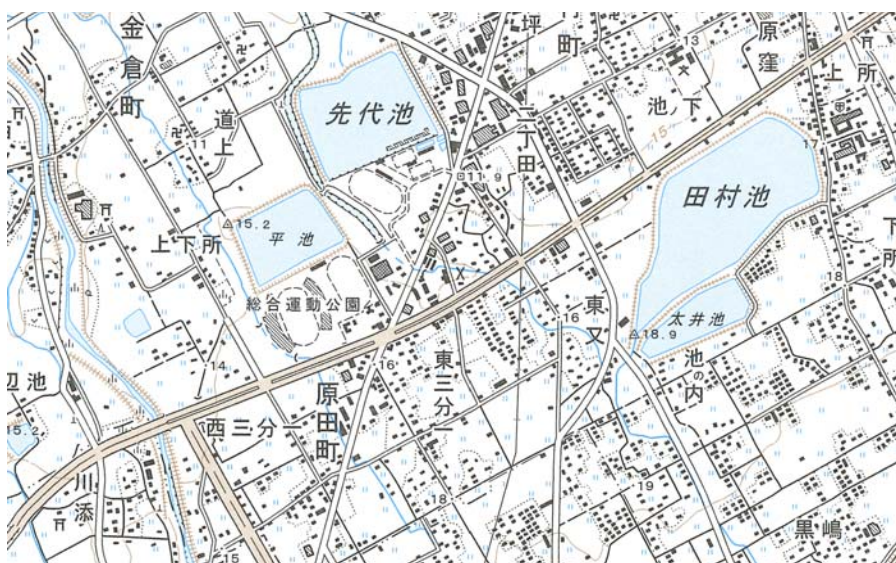
II. 旧版地図を見る（国土の変遷は、旧版地図からも見る事が出来ます）

旧版地図は、図歴（地形図を測量した年や修正した年の履歴）のみインターネットで公開しています。

旧版地図は、国土地理院四国地方測量部で閲覧することが出来ます。



昭和3年測図(昭和6年12月28日発行)2万5千万分1地形図「丸亀」の一部（拡大）



平成15年更新(平成17年1月1日発行)2万5千万分1地形図「丸亀」の一部（拡大）

昔は、琴平参宮電気鉄道 丸亀線（丸亀通町～善通寺赤門）が通っていました。
国道11号丸亀バイパスが開通して、運動施設や住宅が増え都市化が進んでいます。

空中写真や旧版地図の詳しい入手方法は、URLをご覧ください。

空中写真 URL：<http://archive.gsi.go.jp/airphoto/about.html>

旧版地図 URL：<http://www.gsi.go.jp/MAP/HISTORY/koufu.html>

空中写真、旧版地図に関する問い合わせは、以下にお願いします。

高松市松島町1丁目17-33 高松第二地方合同庁舎

国土交通省 国土地理院 四国地方測量部 測量課 調査係 TEL 087-861-9013(代)



就任のご挨拶

防災局長 丹 睦宏 (たん むつひろ)

本年4月1日付で防災局長に就任しました丹 睦宏と申します。

阪神淡路大震災は、今住んでいるマンションに引っ越したばかりのときに起こったので、ゆれの強さや時間の長さが今でも強く記憶に残っています。しかし、高松の震度は4にしかすぎず、着任後、県の防災センターで体験した阪神淡路大震災や南海地震の揺れや時間の長さには比べたら全然比較にならないもので、これまでは、甘く考えていた地震対策の重要性を実感いたしました。

性を実感いたしました。

また、平成19～20年度の2年間は、健康福祉部で、救急医療や新型インフルエンザ対策、食品衛生など保健医療の分野で危機管理に携わっていました。そのときの経験が防災局で役立つものと考えていますが、防災局の仕事は、さまざまな災害や事故などから県民の皆様方の身体、生命、財産を守ることですから、身の引き締まる思いでいっぱいです。

防災基本条例では、自助、共助、公助の理念の下、県民、市町、県が協働して防災対策を行い、災害に強い人づくりと県土づくりをおこなうこととされており、自主防は、まさに自助、共助の要になる組織だと思えます。

もとより微力ではありますが、皆様方と力をあわせて、香川の防災力の向上に努めて参りますので、今後ともよろしくお願ひします。



就任のご挨拶

防災局次長 竹地 保 (たけち たもつ)

本年4月に防災局次長に就任しました竹地と申します。

これまでは、土木部で風水害対策について取り組んでまいりましたが、防災局では、自然災害はもとより、大規模な火災や事故、国民保護事案など幅広い分野の危機管理に携わることになり、その責任の重さとともに防災や危機管理に対する意識をさらに強く持つ必要があると思っております。

水害や地震は地球の自然現象なので、いつ来てもおかしくありません。いつ来ても良いように、防災対策の基本理念で

ある「自助・共助・公助」がバランスよく機能し、災害から県民の生命や財産を守るために、微力ではありますが、防災対策の推進、危機管理体制の充実に努めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

着任にあたり

防災局危機管理課主任 和田 州弘（わだ くにひろ）

この4月1日の人事異動により、防災局危機管理課の危機管理・南海地震グループに着任しました和田州弘と申します。

私は、小学生のとき、当時仙台市民だったのですが、宮城県沖地震に遭遇しました。その日は、たまたま発熱のため学校を休み、家にいたのですが、地盤が弱いとされる地域に住んでいたこともあり、家の中も相当被害を受けました。また翌日は家の近所や通学路の相当数のブロック塀の倒壊を目の当たり（隣の小学校の女の子が倒壊したブロック塀の下敷になり亡くなりました）にし、ぞっとしたのを記憶しております。

このため、地震のときには机の下にもぐれと機会あるごとに教え込まれたことから、社会人になってからは、ちょっとした地震があると、周りからは「反応が早い」とからかわれたりしています。何はともあれ、自主防災組織の皆様方からもお力添えをいただきながら、職務に尽力してまいりたく存じます。よろしく申し上げます。

着任にあたり

防災局危機管理課主任 岩嶋 悟（いわしま さとる）

このたび、4月1日の人事異動により、香川県防災局危機管理課に三木町役場から出向してまいりました岩嶋と申します。

三木町で10数年勤務してきましたが、これまで防災業務に直接係わることはありませんでした。しかしながら過去、何度か災害を経験してきました。中でも記憶に新しいのが平成16年の台風23号です。倒壊した家屋や寸断された道路を目の当たりにして、防災意識が高まりました。

今回、危機管理課に来まして、かがわ自主ぼう連絡協議会の会報を読ませてもらい、皆様の熱心な活動にたいへん驚きました。

今後の業務にあたりましては、微力ではありますが、県民の皆様が防災意識を更に向上されるよう取組んでまいりたいと思います。

事務局だより

平成22年4月

かがわ自主ぼうの事務局を担当している「川西地区自主防災会」平成22年度事業計画を紹介します。皆さんの参考になればと思い、掲載させていただきました。

平成22年度 事業計画

川西地区自主防災会

1 ひとづくり

- | | |
|---|----------|
| ① 防災教育の実践 | ¥127,000 |
| ア) 小学校との防災研修 | |
| ・ 夏、冬の防災研修として、新しいカリキュラムを加えながら、6年生並びに外国人を交えた研修を行う。
(夏:6/2 冬:2/24) | |
| ・ 医療機関と連携したトリアージの研修を行う。(6/10) | |
| ・ 登下校ルートの安心、安全マップの作成支援を行う。 | |
| イ) 中学校との防災研修 | |
| ・ 夏休みの期間を利用して、体育系生徒対象に、より実践的な研修を行う。 | |
| ウ) 高等学校との防災研修 | |
| ・ 高校1年生を対象に約300人の生徒を効率的に、全員参加型の防災研修を行う。 | |
| ② 防災・減災技術の向上 | ¥80,000 |
| ア) 第9回地域防災訓練、全自治会・福祉団体・企業・等の参加による、地域の総合防災訓練を実施する。 | |
| イ) 要援護者の救出・救護を主体とした、情報伝達訓練を実施する。 | |
| ウ) 香川県総合防災訓練を、小学生児童と共に参加する。 | |
| ③ 要援護者支援隊の意識向上 | ¥30,000 |
| ・ 支援者をグループ化(組織化)した支援隊のモチベーション対策として、講演会等を開催する。 | |
| ④ セミナー、シンポジウム等の研修に積極的に参加する。 | (事務局経費) |
| ・ 国、県、大学、かがわ自主ぼう等、主催する研修に多くの自治会、団体より参加する。 | |

- ⑤ 介護研修の開催 ￥20,000
- ・ 専門の講師を招いて、自主ぼう会員の介護技術の向上を図る。

2 物づくり

- ① 大型レスキューセットの分散設置 ￥450,000
- ・ 地域全体が迅速に救出体制が整備されることを、目的に20年度から継続して取り組んでいる施策、本年度も2～3ヶ所の設置を行う。
- ② コミュニティセンター設置の資機材関係の補充 ￥50,000
- ・ 備蓄食品、救出用、給電用、避難所用等の補充を行う。
- ③ 土のうステーションの維持更改(砂・土のう袋)作業を実施する。 (材料は市役所)
- ④ 無線機、ENG関係、備蓄食品の機能試験並びに、賞味期限のチェックなどを実施する。 ￥20,000

3 絆づくり

- ① 地域内、企業、福祉団体とのコラボレーション、連携をより深めた活動を展開する。 ￥18,000
- ・ 会報の配布 ・地域イベントへの招待 ・合同訓練の実施
- ② 広報誌『防災だより共助』を小学校児童とも連携した、会報として毎月発行する。 ￥45,000
- ③ 広域連携として県内各地の自治会、自主ぼう組織との連携し、積極的な出前研修を行う。 (経費は別途)
- ④ 展示パネルの作成 ￥50,000
- 出前研修も含め、普及啓蒙活動として「小学生」「中学生」等を主体とした取り組みの展示パネルを作成する。
- ⑤ フジグラン丸亀店と連携した、合同防災訓練を実施する。 (経費はフジグラン)

編集後記

今月の防災・減災の輪は、国土地理院四国地方測量部、防災情報管理官の愛場様にお願いいたしました。貴重な資料をありがとうございました。